

救急外来で治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

救急外来において肺炎を診断する場合の胸部X線検査の診断特性の検討

◆研究の目的と概要◆

救急外来を訪れた患者さんの中で、15歳以上で発熱があり、胸部X線検査とCT検査を受けられた患者さんを対象に、胸部X線検査の診断特性についての臨床研究を実施しています。この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

◆対象となる患者さん◆

2013年4月から、2015年3月までの間に、救急外来を訪れた患者さんの中で、15歳以上で発熱があり、胸部X線検査とCT検査を受けられた方。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、基礎疾患（冠動脈疾患、糖尿病、心不全入院歴、COPD、慢性維持透析、脳卒中、悪性疾患、喫煙歴）、咳、呼吸困難感、胸痛などの胸部症状、腹痛、嘔吐となどの胸部以外の症状、収縮期血圧、体温、脈拍、呼吸回数、SpO₂値、入院の有無、ICU入院の有無、入院後死亡の有無、肺炎の有無

- * 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません
- * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
- * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用を希望されない方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

総合診療科 研究責任者 佐々木 暁

TEL：086-422-0210（代表）、FAX：086-421-3424（代表）

E-mail：kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究推進部）（★を@に変換して使用してください）